

「こどもまんなか ふっさ」 の実現に向けて

「子育てするなら ふっさ」の今後の展開について



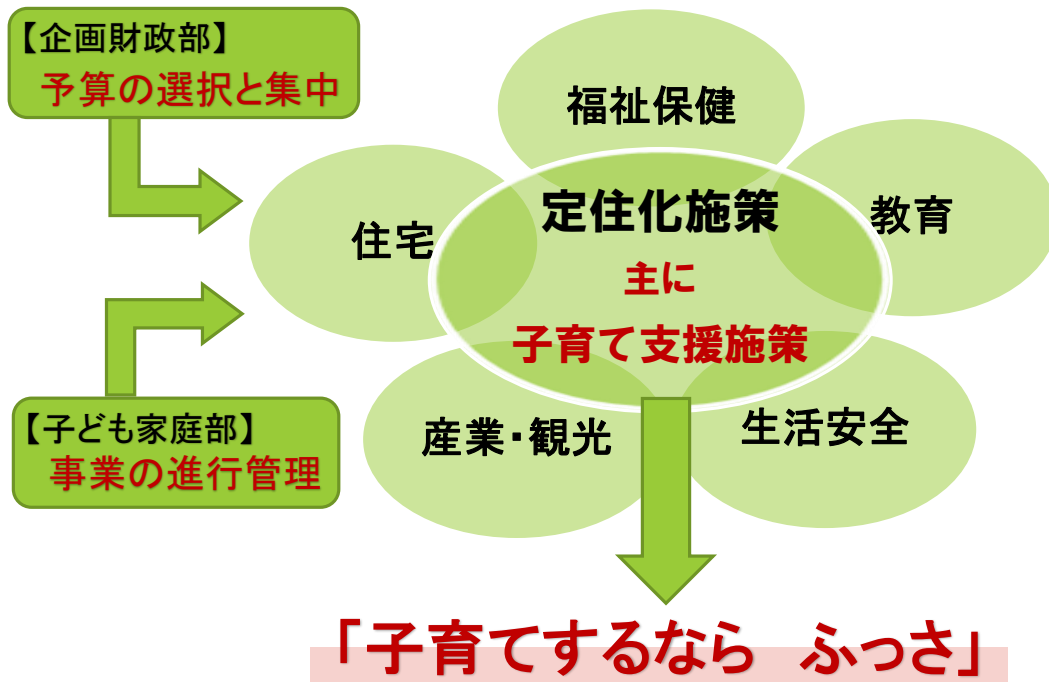
「子育てするなら ふっさ」
応援キャラクター「こふくちゃん」



「子育てするなら ふっさ」とは



新5G【5つのGenre(ジャンル)】



「共働き子育てしやすい街ランキング」(日本経済新聞社等が実施) 7年連続全国トップ10入り！！



共働き子育てしやすい街ランキング2021

順位	自治体名	点数
1位	松戸市(千葉県)	83点
2位	宇都宮市(栃木県)	81点
3位	浦安市(千葉県)	78点
3位	富山市(富山県)	78点
5位	★福生市(東京都)	76点
5位	厚木市(神奈川県)	76点
5位	北九州市(福岡県)	76点
8位	青梅市、大分市、堺市	74点

さまざまなジャンルから体系的に
子育て支援施策に取り組んだ結果
ランキングの常連に！

1. 「子育てするなら ふっさ」のスローガンで職員の意識変革

- 「新・5G」により、他の自治体に先んじて子育て支援施策を体系的に推進
- スローガンが職員に浸透。意識変革により様々なジャンルで先進自治体に

2. 保育園の待機児童が7年連続ゼロ！保育の質も最高レベル！

- 保育園の待機児童が7年連続でゼロ(学童クラブも6年連続でゼロ)
- 幼児教育・保育の質の高さも全国トップレベル(慶応義塾大学SFC研究所の調査結果)

3. コンパクトシティの強みでスピードを生かした施策

- 市役所がコンパクトなため意思決定が早い
- 市内の様々な担い手も「顔なじみ」のため調整が早い

【過去のランキング】

平成27年(2015年)：2位 平成30年(2018年)：6位
平成28年(2016年)：2位 令和元年(2019年)：5位
平成29年(2017年)：3位 令和2年(2020年)：4位



「共働き子育てしやすい街ランキング」
7年連続全国トップ10入り！(都内1位)

福生市の子ども・子育て関係事業 【特徴的な事業編】



多様な担い手との強固な連携

- 子育て支援カード事業(令和5年度からデジタル化)
- 医療的ケア児を全保育園で受入可能に
- 子育て世帯応援！総額1億円キャッシュバック事業



コンパクトな市役所ならではの綿密な連携

- 「学童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体型事業
- 子育て支援住宅整備助成事業
- 赤ちゃんはじめての絵本事業

【その他の特徴的な事業】

ファーストバースデーサポート事業、プレイパーク、子どもの学習支援事業、受験生チャレンジ支援貸付事業、こども食堂(令和5年度新規事業)、産後ケア事業、優良住宅取得推進事業 など



福生市の子ども・子育て関係事業 【DX編】

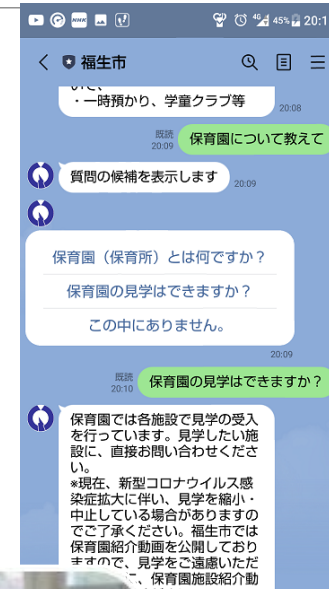


若者世代をターゲットにしたICTの活用

- 学童クラブ入所オンライン申請開始(令和4年11月)
※東京都市長会の取組(福生市、八王子市、昭島市、羽村市の全4市が参加)
- 予防接種・子育て健康ナビ
- 「ぴったりサービス」の早期運用開始

かゆいところに手が届くサービス

- タブレットによるテレビ電話多言語通訳サービス
- LINEで24時間対応可能なチャットボット導入
- 市内全保育園のICT化による登降園の簡素化
保護者のスマートフォンとの連携





福生市の子ども・子育て関係事業 【教育編】

地域総がかりで、学校教育を推進

- 市内全校がコミュニティ・スクール(平成31年度)
- 市内私立幼稚園・保育園と小学校の連携
- 小中一貫教育の推進

いつでも どこでも 何度でも iPad

- 児童・生徒一人1台のiPad(LTE端末)の貸与
自由に持ち帰りで使用
- 小・中学校全教室に電子黒板、大型ディスプレイを配備

【その他の教育委員会の事業】

英語教育施策の強化(ALT常駐、TGGへの参加等)、分教室型不登校特例校を設置、日本語適応指導事業 など



「子育てするなら ふっさ」PR強化



動画を積極的に活用



市内全保育園の施設内を動画で見学できる「保育園見学動画」

保育士不足対策として作成した「保育士するならふっさ」

「保育園見学動画」は、コロナの影響により新規入園希望者が保育施設の見学ができなくなったことを受けて制作。「保育士するなら ふっさ」は、保育士不足が大きな課題となっている保育園における対策として、保育士の魅力を伝える動画に。秘書広報課職員が撮影を担当し、保育園との調整やインタビューは子ども育成課の職員が行うなど、関係部署が連携して手作りで作成した。

「スマホ」に特化した特設サイト「こふくナビ」



ターゲットとする子育て世帯の情報収集ツールはスマートフォンが主流。しかし、市の公式ホームページはスマートフォンでは若干見にくい。ここに着目し、有志で立ち上げたプロジェクトチームが全庁的な調整を行い、ページを大幅に整理。新たなコンテンツも手作りで作成し、令和3年10月から大好評で公開中。

日本経済新聞(令和4年8月27日付)に「若年女性の比率上昇」

2022年(令和4年)8月27日(土曜日) 日本経済新聞

若年女性の比率上昇

福生、子育て支援策奏功

保育所定員増など 駅前再開発も追い風

データで読む 地域再生

順位	自治体	母体数	増加率	若年女性比率
1	千葉県市川市	40981人	20%	48.8%
2	東京都世田谷区	81899	19	51.3
3	東京都板橋区	4282	18	48.4
4	東京都練馬区	1282	18	50.0
5	東京都中央区	11219	16	51.6
12	埼玉県草加市	10334	12	48.2
27	神奈川県川崎市	125542	7	48.8
35	東京都府中市	1554	6	52.1
41	千葉県流山町	1617	5	46.3

【注】順位、自治体別保育所定員増率の順位。自治体別保育所定員増率は、令和3年度(2021年度)と令和2年度(2020年度)の増減率を比較し算出した。

葛西臨海水族園の新施設整備 NEC系創価団で落札

観光振興協会 観光客の交流促進に努める

今後の展開

「子育てするなら ふっさ」と「こどもまんなか ふっさ」の両立



■今度のこども施策の「司令塔」

国	こどもまんなか社会 ・こども家庭庁設置(令和5年4月)
東京都	チルドレン・ファースト ・子供政策連携室設置(令和4年4月)
福生市	こどもまんなか ふっさ ・子ども政策課設置(令和5年4月)



こども家庭庁設置法、こども基本法、子どもの権利条約、都の「チルドレンファースト」等に基づき、子どもの権利や意見を尊重し、子どもを中心とした、**子ども目線の施策に重点を置く**



「こどもまんなか ふっさ」の実現

子育てするなら ふっさ

「福生市子ども・子育て支援事業計画」の見直し

- (1)「子ども・子育て審議会」中心に子ども関係施策の方向性を見直す
- (2)「子ども・子育て支援事業計画(第2期)」で体系化した子ども関係事業約240の全事業を見直す
→ 可能なものは「子ども目線」の事業に!

こどもまんなか ふっさ

「福生市こども計画(仮)」策定

- (1)国「こども大綱」都「こども計画」を受け「福生市子ども計画(仮)」を策定予定
- (2)現在実施している「子ども目線」の事業の充実及び新設
 - ・こども議会
 - ・青少年意見発表大会
 - ・学童クラブ、児童館における「こども会議」
 - ・特別な配慮が必要な児童への支援の充実
 - ・こども食堂事業(令和5年度新規事業)等

両立